京都・丹波・若狭
―光秀・ガラシャ・幽斎・忠興―
ゆかりの城と御城印めぐり

細川ガラシャ
隠棲地の碑

福知山城

京丹後市

舞鶴市 田辺城跡

宮津市 宮津城太鼓門

鬼ヶ城

＊今後販売予定

福井県

綾部市 山家城址公園

若狭町 熊川城跡

福知山市

黒井城跡 丹波市

兵庫県

八上城跡 丹波篠山市

亀岡市

丹波亀山城跡

丸岡城跡

長岡京市 勝竜寺城公園

大山崎町

山崎城跡（天王山山頂）

築城450年（限定版）

細川ガラシャ版

京都府・兵庫県・福井県

大河ドラマゆかりの地
ゆかりの地は、わたしたちのまち

光秀・ガラシャ・幽斎・忠興

戦国の世を生きた４人のゆかりの地

〈福知山市〉福知山城

1579年、丹波を平定した明智光秀が築いた城。明治初めに石垣と一部の遺構を除いた大部分が取り壊されたが、1986年に市民の「瓦一枚運動」により3層4階の天守閣が復元された。
天守閣からは城下町や山々などの景色が一望できる。城内部は、城に関する資料などを紹介している。

〈亀岡市〉丹波亀山城跡

明智光秀が丹波平定の拠点として丹波亀山城を築城。光秀の死後、歴代の城主による城郭の整備を経て、1610年に層塔型の五重の天守をもつ近代城郭として完成した。1877年には天守解体となり、現在は石垣を残すのみとなっているが、堀跡は南郷公園として親しまれており、明智光秀公像がたたずんでいる。

〈舞鶴市〉田辺城跡（舞鶴公園）

田辺城（別名、舞鶴城（ぶかくじょう））は、明智光秀と共に丹後を平定した細川幽斎が築いた。関ヶ原の戦いの前哨戦となった田辺籠城戦では西軍1万5千人に対してわずか500人で52日間籠城した。現在、本丸跡は「舞鶴公園」となっており、城門の2階には、田辺城資料館がある。

〈宮津市〉細川ガラシャ夫人像

細川忠興・ガラシャ生誕450年を記念して、2013年に大手川ふれあい広場中央に建立。波乱万丈の生涯の中で、自らの信念を貫いた玉（のちの細川ガラシャ）の姿が「祈り」をテーマに表現されている。彫刻制作は山本眞輔氏（日本芸術院会員）、銘板揮毫は細川家18代当主・細川護熙氏。

〈長岡京市〉勝竜寺城公園

織田信長の命を受け、細川藤孝（幽斎）が瓦・石垣・天主を備えた近世城郭に改修。光秀の娘・玉（ガラシャ）が細川忠興に輿入れし、新婚生活を送った。山崎の戦いで光秀が拠点とし、最期の夜を過ごす。光秀が脱出したと伝わる北門には当時の石垣が遺る。公園内の管理棟には、無料の展示室がある。毎年11月第２日曜に「長岡京ガラシャ祭」を開催。

〈綾部市〉山家城址公園

山家の豪族、和久氏の居城であった山家城（甲ヶ峯城）は明智光秀の処罰を受け落城し、その麓に江戸時代この地区を治めた谷氏が山家城（のちの山家陣屋）を築城した。
現在は公園として整備され、桜や梅、紅葉など四季折々の自然が美しく、「京都の自然200選」に選ばれている。

〈京丹後市〉細川ガラシャ隠棲の地の碑

細川ガラシャは本能寺の変の後、夫・忠興の命により、京丹後市弥栄町味土野の地に幽閉された。ガラシャが2年余り過ごしたとされる女城跡には、「細川忠興夫人隠棲地」と刻まれた記念碑がある。またガラシャが眺めて過ごしたと伝承される「藤の花」は、春に見頃を迎える。

〈大山崎町〉旗立松展望台

天王山の中腹にあり、山崎合戦にて、秀吉軍が味方の士気を高めるため、老松の樹上高く「千成ひょうたん」の旗印を掲げ、勝利を収めたと言われている。
旗立松の横にある展望台からは秀吉軍と光秀軍が布陣した古戦場を見渡すことができる。

〈丹波篠山市〉八上城跡

丹波地域一帯に勢力を誇った波多野氏が本拠とし、丹波攻めの舞台にもなった城。現在、建物は残っていないものの、石垣や堀切、池などの主要な遺構が残っている。
また、八上城跡の周辺には光秀が築いたと考えられる砦が残っている。2005年には国の史跡に指定。

〈丹波市〉黒井城跡

「丹波の赤鬼」と呼ばれた赤井（荻野）直正の居城で、国指定文化財。丹波平定後は、明智光秀の重臣斎藤利三が城主となった。今も戦国時代の遺構がそのまま残っている。毎年11月には「黒井城まつり」も開催される。

〈若狭町〉若狭鯖街道熊川宿

海と都をつなぎ、若狭と畿内を結んだ街道、いわゆる鯖街道の宿場町の一つ。光秀は越前朝倉攻めのため熊川に先回りし、当時の近況を書状に記して藤孝らに報告している。その2日後、信長は藤吉郎（秀吉）らを従え、同行した家康とともに熊川で宿泊したと伝わる。藤孝（幽斎）の正室麝香は、嫡子忠興の正室玉（ガラシャ）の姑にあたる。

大河ドラマ
「麒麟がくる」推進協議会

ホームページ